

雲仙普賢岳の火山災害から復興した島原市の 地域づくりとジオパーク推進に関する調査

山口真和 高橋和雄 中村聖三
長崎大学工学部 長崎大学工学部 長崎大学工学部

1. はじめに

島原市（旧有明町を含む）及び旧深江町を中心に島原半島全域に大きな被害をもたらした雲仙普賢岳の噴火の終息（平成7年2月）から14年が経過し、被災地の復興事業は順調に進み、一部を除いてほぼ終了している。復興事業は進んだものの、人口や観光客、修学旅行生の減少などにより地域経済は衰退している現状にある。一時は、観光客数が災害前の80%まで回復したが、平成16年以降は再び減少している。その中、平成21年8月に島原半島ジオパークが世界ジオパークネットワークに加盟を果たした。この成果を今後のまちづくりなどにつなげていくことが期待されている。そこで、本研究では、市民アンケート調査をもとに現在の島原市の現状を把握、問題点などを明らかにし、今後の地域づくり、防災都市づくり、ジオパークの推進について検討するものである。さらに、平成13年10月に実施したアンケート結果¹⁾と比較し、現在の問題点を明らかにする。

2. アンケート調査

「島原市全域の地域づくり、防災、ジオパークに関するアンケート調査」と題して、島原市全域の20歳以上の市民を対象にアンケート調査を行った。対象者は選挙人名簿から無作為に約2%抽出し、郵送方式で配布、回収した。835部を配布し、平成21年12月現在349部回収した（回収率41.8%）。主な調査項目は、現在の島原市について（3問）、防災都市づくりについて（6問）、災害時の避難対策について（5問）、島原市での生活について（2問）、観光について（4問）、島原半島ジオパークについて（5問）である。

3. 調査結果

3.1 回答者の属性

回答者の属性は男性53.6%、女性46.4%で、年齢は20歳代4.9%、30歳代14.7%、40歳代16.4%、50歳代30.3%、60歳代27.9%、70歳以上5.8%である。

職業は「会社員・団体職員」が最も多く25.9%、次いで「無職」15.6%、「農林業」と「公務員」が9.8%で、居住年数は「40年以上」が最も多く47.0%である。

3.2 現在の状況と課題

現在の生活環境について聞いたところ、図-1のように「働く場・就職機会の充実度」と「鉄道・バスなど公共

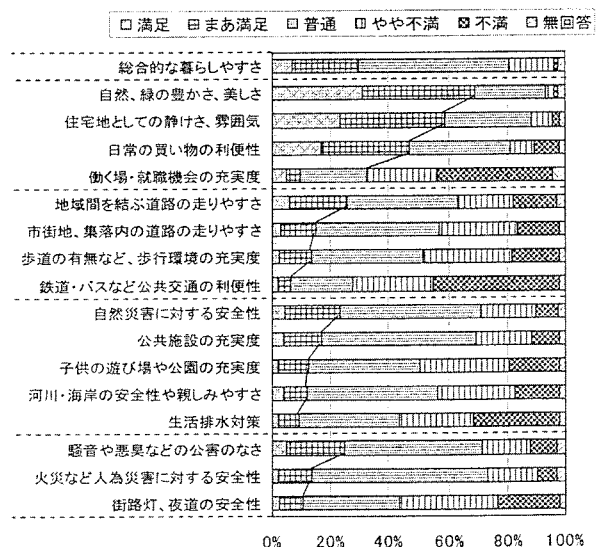


図-1 現在の生活環境について（N=349）

交通の利便性」で、「不満」または「やや不満」とする割合が60%であった。逆に、「自然、緑の豊かさ、美しさ」では「満足」または「まあ満足」と答えた割合が68.8%、「住宅地としての静けさ、雰囲気」では58.7%であった。

土地・建物の現況については図-2のように、「空き地、廃屋が目立ってきた」で「そう思う」または「少しそう思う」と答えた割合が87.4%、「管理されていない田畑や空き地が増えてきた」で70.8%となった。「高層の建物と戸建住宅が混在し、日当たりなどの面で影響が出ている」や「工場や倉庫などが立地し、騒音や交通量などの面で影響が出ている」では、「思わない」または「あまり思わない」と答えた割合が80%であった。人口や観光客の減少による地域の衰退が見受けられる。

島原市にどんなイメージを持っているか聞いたところ、それぞれの上位3つは表-1の結果となる。良いイメージでは「山、川、海などの自然が美しいまち」が64.2%、悪いイメージでは「働く場が少ないまち」が77.4%、将来なっしてほしいイメージでは「働く場が充実したまち」が52.4%となり最も多くなった。

また、「現在の生活で不便や不満に思っていることは何ですか」と聞いたところ、「交通の便」が最も多く60.5%、続いて「仕事」53.3%、「収入」48.4%であった。前回の調査結果では「交通の便」39.1%、「仕事」31.6%、「収入」33.8%で、割合が増加していることがわかる。

これらから、島原市は自然が多く残る緑豊かなまちであるが、地域経済は衰退してきている状況にあると考えられる。働く場の創出や、観光による交流などの増大が期待されている。

3.3 防災の意識変化

「噴火が終息したと思いますか」と聞いたところ、図-3の結果を得た。前回に比べて、「終息したと思うが、もう数年様子を見ないとわからない」とする割合が増加している。

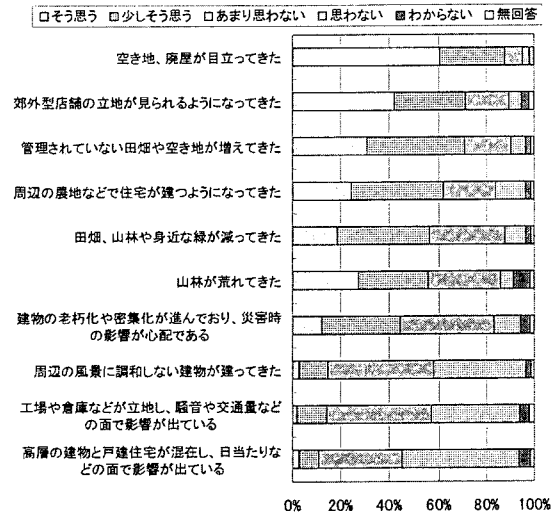


図-2 土地・建物の現況について (N=349)

表-1 島原市のイメージの上位3位 (N=344, 複数回答)

区分	内容	(%)
良いイメージ	1. 山、海、川などの自然が美しいまち	64.2
	2. 歴史、文化が豊かなまち	39.0
	3. 農林水産業の盛んなまち	35.0
悪いイメージ	1. 働く場が少ないまち	77.4
	2. 特色ある産業がないまち	42.4
	3. 交通の不便なまち	33.0
将来のイメージ	1. 働く場が充実したまち	52.4
	2. 山、海、川などの自然が美しいまち	36.7
	3. 多くの人が訪れる観光や交流のまち	32.1

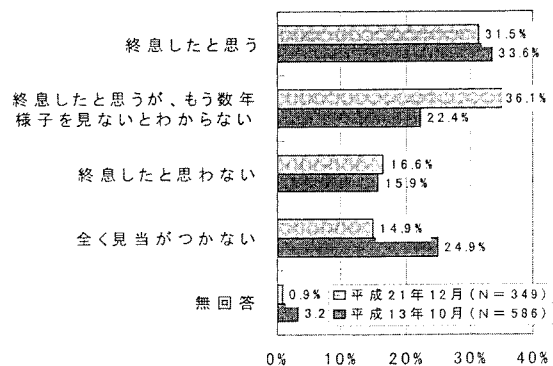


図-3 噴火の終息についての判断

「島原市において今後心配される災害は何ですか」と聞いたところ、図-4の結果を得た。「眉山の山体崩壊」が最も多く45.8%、次いで「台風による風害」44.1%、「普賢岳の溶岩ドームの崩落」43.9%であった。「普賢岳の火砕流は発生すると思いますか」と「水無川、中尾川や湯江川の土石流は発生すると思いますか」では、それぞれ「十分に考えられる」が62.8%と64.2%で依然として高い状態であった。

「噴火災害について、家庭内で話し合うことがありますか」では、図-5の結果を得た。前回と比較すると、「よく話す」、「時々話す」の割合が減少している。

また、「避難計画を記入した防災マップを見たことがありますか」に対しては、「はい」と答えた割合が前回では68.2%であったのに対し、今回の調査では54.7%であった。同様に、「風水害や地震に対する地区の避難所を知っていますか」では、「はい」と答えた割合が83.9%から76.5%に減少した。

現在では、普段の生活からは噴火は過去のものになりつつあるが、依然として災害への不安は残っていると考えられる。

3.4 火山観光

「火山観光化が推進されたことによって、島原の観光の魅力は噴火前と比べてどう思いますか」と聞いたところ、図-6のように「魅力が増えた」が40.8%であった。「火山観光化の推進は観光の集客になったと思いますか」では、図-7のように「かなり効果があった」または「多少効果があった」と答えた割合が76.9%であり、多く人が火山観光化の推進に効果があったと評価している。

また、整備された火山学習体験施設について「それぞれの施設をどれくらい知っているか」では、図-8のように「土石流被災家屋保存公園」と「雲仙岳災害記念館」は「よく知っている」、「だいたい知っている」で80%以上を占める。「島原市の観光の持つイメージを教えてください」では、図-9のように「水と緑の豊かな保養都市」が最も多く45.9%であった。

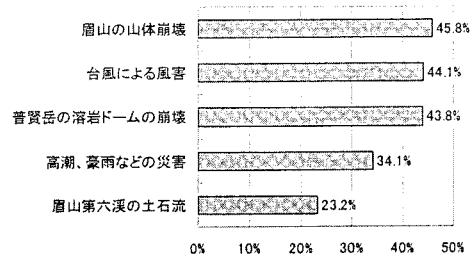


図-4 島原市で今後心配される災害 (N=349, 複数回答)

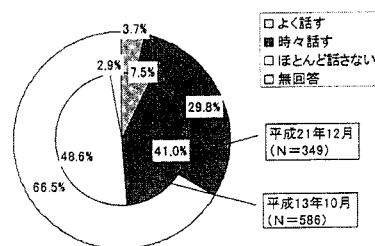


図-5 噴火災害について家庭での話し合い

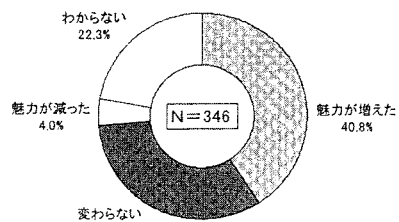


図-6 現在の島原の観光の魅力は噴火前と比べてどうか

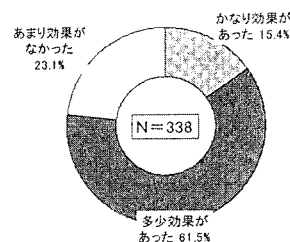


図-7 火山観光化の推進は観光の集客になったか

3.5 島原半島ジオパーク

「島原半島ジオパークが世界ジオパークネットワークに加盟したことを知っていますか」と聞いたところ、「知っている」が89.8%である。しかし、「島原半島ジオパークの特徴や内容をどの程度知っていますか」では、図-10のように「ほとんど知らない」30.8%、「少し知っている」39.8%であり、内容についてはあまり知られていない。さらに、「ジオパークをどこから知りましたか」では、「市の広報誌」71.1%、次いで「テレビ」64.5%、「新聞」60.7%となった。市の広報誌による紹介を情報源としている。

「ジオパークにどのようなことを期待しますか」では、図-11のように「災害や復興の教訓の継承」、「自然や環境の保全」が多かった。また、「ジオパークを推進するために取り組んで欲しいことは何ですか」とでは、図-12のように「島原市、雲仙市、南島原市の連携した推進」や「諫早方面からの地域高速道路の整備」などが望まれていることがわかった。

4. まとめ

現在の島原市は、火山災害から復興したものの、地域経済は衰退している状況にある。災害復興から地域復興への移行が今後の課題である。ジオパークは、観光客の誘致や雇用の場の受け皿として期待されている。

参考文献

- 1) 高橋和雄, 木村拓郎: 火山災害復興と社会—平成の雲仙普賢岳噴火—, 古今書院, pp.144-154, 2009.11

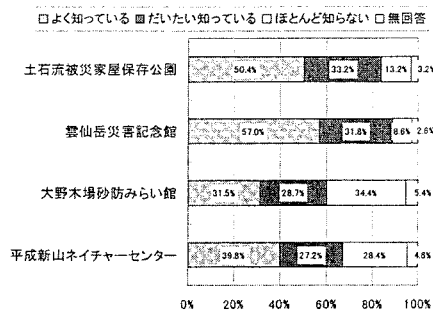


図-8 火山災害学習体験施設の周知度 (N=349)

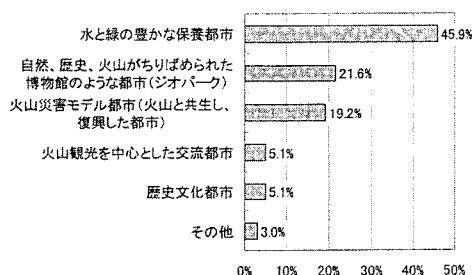


図-9 島原市の観光の持つイメージ (N=333)

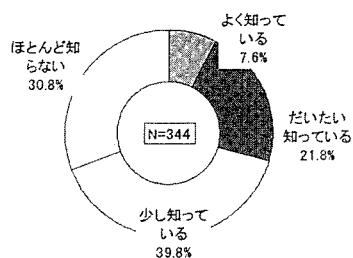


図-10 ジオパークの特徴や内容の周知状況

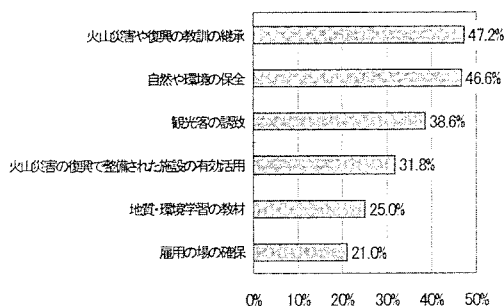


図-11 ジオパークに期待すること (N=319, 複数回答)

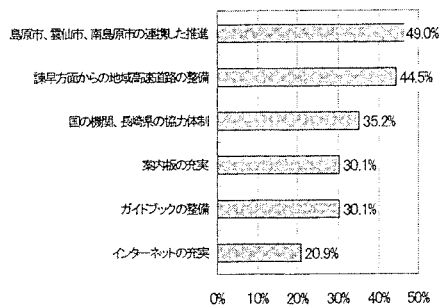


図-12 ジオパーク推進にあたって取り組むべきこと (N=330, 複数回答)